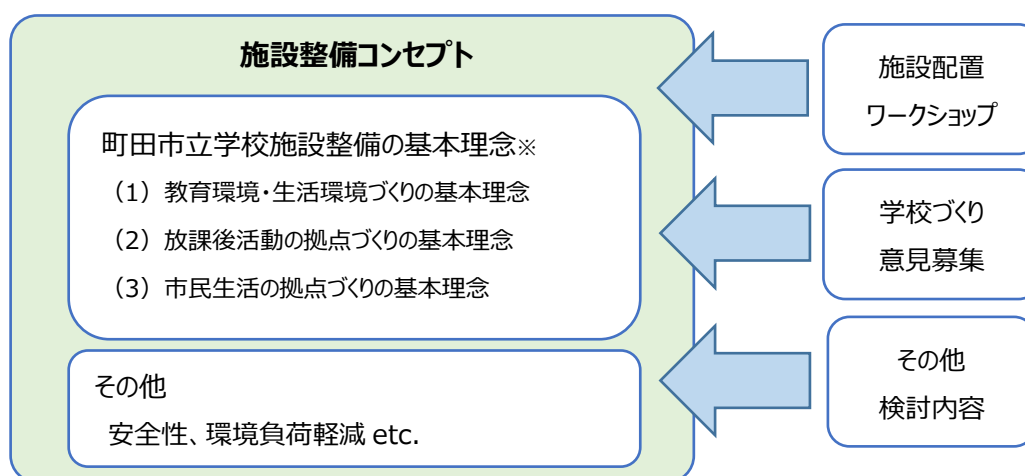


## 本町田地区新たな学校の施設整備コンセプトの作成について

本町田地区の新たな学校の建設に向けて、基本計画検討会で検討した内容を踏まえて施設整備コンセプトを作成し、2023年度以降の設計・建設を進めていきます。

### 1 施設整備コンセプトの作成

施設整備コンセプトは、施設機能別整備方針に掲げる「町田市立学校施設整備の基本理念」、その他安全性や環境負荷軽減などについて、学校候補地の条件及び地域性や統合対象校の特色を踏まえて検討し、まとめるものです。第2回基本計画検討会（2022年3月11日（金）開催）で実施した本町田地区新たな学校の施設配置に関するワークショップにおいて皆様からいただいたご意見、学校づくり意見募集でいただいたご意見、その他今後の検討内容を反映し施設整備コンセプトを作成します。



#### ※ 参考：町田市立学校施設整備の基本理念（抜粋）

##### (1) 教育環境・生活環境づくりの基本理念

学校は、社会において思考力・判断力・表現力や、社会性・人間関係を形成する力を育む場の中で児童・生徒にとって最も重要な場であることから、安心して学校生活を送ることができる環境を基盤として、協働的な学習や学校生活におけるコミュニケーションを促進することができる環境を整備します。

また、多様な学習形態に対応することができる環境や、主体的に体を動かしたくなる環境を整備します。

##### (2) 放課後活動の拠点づくりの基本理念

放課後における児童・生徒の居場所の一つとして、安心して様々な活動をすることができる環境を整備します。

##### (3) 市民生活の拠点づくりの基本理念

地域と学校が連携・協働するためのスペースの確保や、学校施設のさらなる地域開放、他の公共施設等との複合化によって、多様な人々が学校につどい、教育活動・放課後活動などを通じた連携・協働や、スポーツ・生涯学習、地域活動その他の市民活動を通じて、市民が交流し活動する愛着ある地域拠点となるような環境を整備します。

そして、新たな学校づくりにおいて学校施設機能を集約して整備する場合（例：学校給食の給食センター）においても、愛着ある地域拠点施設とするための多機能化や複合化を検討します。

また、地域の防災拠点として災害時の対応を円滑に行うことができる環境を整備します。

## 2 本町田地区新たな学校の施設配置に関するワークショップにおけるご意見まとめ

資料 6-2 のとおり、ワークショップのご意見を施設整備コンセプトに合わせて整理しました。本町田地区の校地の特色や問題点を踏まえながら、2023 年度以降の設計や建築において、学校施設配置の側面から具体化していきます。

### <ワークショップでいただいた施設配置以外のご意見について>

ワークショップでいただいた施設配置以外のご意見については次のように検討していきます。

#### ■学校施設を利用した学校教育活動以外の事業の検討

子ども食堂の実現など、学校教育活動以外の事業の検討についてワークショップ内でご意見をいただきました。

本町田東小学校の場所に建設する新しい学校において、どのような事業が検討できるかを民間事業者アンケートを実施しています。そのアンケートに基づいて民間事業者にはヒアリングも予定しているところです。

この民間事業者による事業の実現可能性についても 2022 年度に策定する基本計画にまとめていきます。

#### ■学校生活上のルールなどの運用面の工夫

学校施設内において事故を防ぐために廊下を一方通行にするなど学校施設の運用面の工夫についてワークショップ内でご意見をいただきました。

学校の設計段階で反映できるものは反映していきますが、学校と教育委員会とで運用面の工夫についても検討・実施していきます。

## 3 学校づくり意見募集におけるご意見まとめ

学校づくり意見募集で寄せられたご意見も、施設整備コンセプトに反映していきます。

項目	施設配置に関する主なキーワード
校舎（教室など）	日当たり、体育館の空調、図書室、ランチルーム、収納
校舎外（校庭など）	きぼうの森、芝生、竹林、畑・農園、花壇、駐車場、遊具（すべり台など）
その他	防災防犯、動線、通学の安全、バリアフリー